

# 清泉女子大学の財務報告

## —平成 25 年度決算の概要—

学校法人会計基準では、会計年度の終了時に「資金収支計算書」「消費収支計算書」及び「貸借対照表」を作成することが必要とされています。

このうち「消費収支計算書」は、当該会計年度の収入と支出の内容および均衡の状況を明らかにすることにより、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを判断できる有力な材料となりうることから、本報告も当該計算書を中心に説明します。

なお、企業会計と学校法人会計との主な違いとしては、企業会計が利益を追求し損益を明確にすることを目的とするのに対し、学校法人会計は教育・研究活動の円滑な遂行がなされているかを明確にすることを目的とする点があります。

### I.消費収支計算書の概要

#### (1) 消費収入の部

##### ① 学生生徒等納付金

授業料・入学金・実験実習料・施設設備資金等の学生から納入された金額です。収入のうちで最も大きな割合を占め、平成 25 年度は 21 億 35 百万円（予算比 25 百万円増）でした。

##### ② 手数料

入学検定料や証明手数料等による収入です。平成 25 年度は 65 百万円（予算比 3 百万円増）でした。予算比での増加は、2 月入学試験受験者数の増加によるものです。

##### ③ 寄付金

金銭その他の資産を寄贈者から贈与されたもので、補助金収入にならないものです。用途指定のある「特別寄付金」は、平成 25 年度は 65 百万円（予算比 16 百万円増）でした。予算比での増加は、泉会及び学園募金の寄付金額の増加によるものです。

##### ④ 補助金

国や東京都からの補助金の収入です。平成 25 年度は 2 億 47 百万円（予算比 13 百万円増）でした。予算比での増加は、私立学校施設整備費補助金及び私立大学等研究設備整備費補助金の増加によるものです。

⑤ 資産運用収入

預金・有価証券の利息や施設設備等の利用料収入です。平成 25 年度は 21 百万円（予算比 6 百万円増）でした。

⑥ 事業収入

公開講座（ラファエラ・アカデミア）・売店（ラファエラ・ショップ）・清泉カフェ・日本文化日本語講座の教育研究活動に付随する活動による収入です。平成 25 年度は 40 百万円（予算比 2 百万円増）でした。予算比での増加は、清泉カフェの売上の増加によるものです。

⑦ 雑収入

上記の収入科目に属さない収入で、退職金財団からの退職交付金収入等です。平成 25 年度は 50 百万円（予算比 1 百万円増）でした。

⑧ 帰属収入

学校法人に帰属しており、負債とならない収入で、借入金や前受金を含みません。平成 25 年度の帰属収入合計は 26 億 24 百万円（予算比 67 百万円増）でした。

⑨ 基本金組入額

学校法人の諸活動を永続的に維持する為に、帰属収入のうちから組入れた金額です。平成 25 年度の組入れ合計額は、4 億 92 百万円（予算比 2 億 26 百万円減）でした。

⑩ 消費収入の部合計

帰属収入から基本金組入額を控除した収入の合計額です。平成 25 年度の消費収入合計は 21 億 32 百万円（予算比 2 億 93 百万円増）でした。

(2) 消費支出の部

① 人件費

教職員に支給する給与や、退職金財団掛金等の支出です。平成 25 年度は 13 億 87 百万円（予算比 33 百万円減）でした。

② 教育研究経費

教育・研究活動に直接要する経費です。平成 25 年度は 7 億 68 百万円（予算比 56 百万円減）でした。

### ③ 管理経費

教育・研究活動以外に要する支出で、総務・人事・財務等の業務執行や学生募集活動、教職員への福利厚生等の為の経費です。平成 25 年度は 1 億 48 百万円（予算比 19 百万円減）でした。

### ④ 資産処分差額

2 号館校舎・ラファエラ棟改修工事等に伴う建物・機器備品や、図書の除却分です。平成 25 年度は 13 百万円（予算比 7 百万円増）でした。

### ⑤ 徴収不能引当金繰入額

貸与奨学金に係る徴収不能見込額の計上分です。

### ⑥ 消費支出の部合計

人件費・教育研究経費・管理経費等の当年度に発生した費用の合計額です。資金支出の他に退職給与引当金繰入額や減価償却額も含まれます。平成 25 年度は 23 億 18 百万円（予算比 1 億 31 百万円減）でした。

## (3) 消費収支戻

### ① 当年度消費収支差額

当年度の消費収入から消費支出を差し引いた差額で、収支均衡状況を表します。消費収入が消費支出より多い場合は「当年度消費収入超過額」、消費支出が消費収入より多い場合は「当年度消費支出超過額」で記載します。平成 25 年度は 1 億 85 百万円の支出超過でした。

## II. 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度の教育・研究その他の活動に対応するすべての収入・支出の内容並びに支払資金の顛末を明らかにしたものです。

資金収支計算書のみで取り扱う科目の内容は、以下の通りです。

### ① 前受金収入

翌年度の新生入に係る学生生徒等納付金等、当年度中に納入された翌年度の諸活動に係る資金収入です。平成 25 年度は 5 億 24 百万円（予算比 9 百万円増）でした。

## ② 資金収支調整勘定

資金収支計算書において、当年度の資金の動きを表す為に、当年度の諸活動に係る前年度以前の収入・支出や、翌年度以降の収入・支出を調整する勘定科目です。

資金収入調整勘定は、△6億78百万円の調整額となりました。

資金支出調整勘定は、△50百万円の調整額となりました。

## ③ 施設関係支出

建物の改修に要した支出です。平成25年度は5億17百万円（予算比9百万円減）で、主に2号館校舎・ラファエラ棟改修によるものです。

## ④ 設備関係支出

機器備品（耐用年数が1年以上でその価額が20万円以上）や、図書の取得に要した支出です。平成25年度は2億6百万円（予算比3百万円減）でした。

## ⑤ 資産運用支出

退職給与引当金や1号館校舎建替資金等への繰入支出です。平成25年度は1億20百万円（予算比21百万円減）でした。

## Ⅲ.貸借対照表の概要

平成26年3月31日現在の総資産は116億11百万円で前年度末比2億47百万円増加しました。

一方総負債は11億41百万円で前年度末比60百万円減少しました。

この結果、純資産（総資産－総負債）は104億70百万円となりました。

### ① 資産

平成25年度末の資産合計は、116億11百万円（前年度末比2億47百万円増）です。

○有形固定資産：建物・機器備品・図書等の購入により4億69百万円増加。

○その他の固定資産：引当特定資産で、75百万円増加。

○流動資産：短期（1年以内）で保有する現預金や未収入金で、2億97百万円減少。

### ② 負債

平成25年度末の負債合計は、11億41百万円（前年度末比60百万円減）です。

○固定負債：退職給与引当金で、37百万円減少。

○流動負債：未払金・前受金・預り金で、24百万円減少。

### ③ 基本金

平成 25 年度末の基本金合計は、137 億 2 百万円（前年度末比 4 億 92 百万円増）です。

○第 1 号基本金：土地・建物・機器備品・図書等の固定資産で、111 億 20 百万円（前年度末比 3 億 82 百万円増）。建物関係では 2 号館校舎・ラファエラ棟改修工事、機器備品関係では改修に伴う組入れ及び除却を行い、これに図書購入分等を組入れています。

○第 2 号基本金：1 号館校舎建替えの為に積み立てる資産で、15 億円（前年度末比 1 億円増）。

○第 3 号基本金：学生厚生基金（奨学基金）、教育研究助成基金及び国際交流基金として継続的に保持・運用する資産で、8 億 57 百万円（前年度末比 11 百万円増）。

○第 4 号基本金：法人運営の為に恒常的に保持する資産で、2 億 25 百万円（前年度末と同額）。

### ④ 正味財産

基本金と翌年度繰越消費支出超過額との差額で、平成 25 年度末の正味財産は、104 億 70 百万円（前年度末比 307 百万円増）です。